



輝け 城東っ子



R7. 1. 31

校長 高橋 正和

50周年 創立記念日1月20日（月）

本校は、宇都宮市立築瀬小学校から分離し、昭和50年に「宇都宮市立城東小学校」として開校しました。今年度50周年を迎えました。

創立年度（昭和50年度）は、6年生は在籍しておらず、1年生から

5年生までの在籍でした。学級10学級で、児童数は306名、教員数は18名でスタートしました。同年6月20日にPTAが結成され、7月16日には校章制定（図案 大根田福次氏）、9月27日に校歌（作詞 薄井 春夫氏・作曲 船村 徹氏）が制定されました。

昭和51年1月20日に創立記念式が挙行され、創立記念日として設定されました。さらに、昭和52年11月24日には、城東小音頭（作詞 薄井 春夫氏・作曲 船村 徹氏・振付 藤野 豊紫氏）の発表会が行われました。

敷地内の整備については、創立の年（昭和50年）の7月2日には、アルミプールが完成し、12月12日には、体育館も完成するなど、充実した教育環境を整えていただきました。また、平成4年3月13日には、管理棟の増改築工事が完了し、現在のような校舎になりました。

児童数については、一番多かった年は、平成27年の男子222名・女子222名、合計444名でした。

今後も城東小の伝統を守り、さらに発展した10年後60周年の城東小学校を楽しみにしたいと思います。

表彰式とケーキでお祝い

創立50周年記念事業の1つとして、標語とイラストを募集しました。選ばれた標語とイラストは、横断幕になり、校門付近のフェンスに飾られました。選ばれた児童2名（4年生：イラスト・6年生：標語・イラスト）に対して、実行委員長から表彰状をいただきました。イラストで選ばれた保護者の方も含め、10月22日（水）の式典時にあらためて表彰していただく予定です。

また、給食時にお祝いのケーキを出していただきました。感謝の気持ちと今後の発展を願いながら、おいしくいただきました。ありがとうございました。



進学先中学校訪問

全市一斉の進学先中学校訪問が1月17日（金）に行われました。6年生が進学先中学校の授業や部活動の見学などを通して、進学への期待を高めるとともに、中学校の学習や生活についての説明などにより、進学前の不安解消を図ることを目的として、毎年行われています。



避難訓練（緊急地震速報への対応・自主避難の訓練）

休み時間に自主避難訓練を行いました。児童には、日時だけは知らせず事前指導を行い、冷静に迅速かつ的確な行動がとれるようになることを目標に実施しました。緊急地震速報について理解し、放送を自分でしっかりと聞き、自分で考え、自分で判断し、自分で行動に移す訓練です。今回の訓練は、「自分で」が重要でした。不安や緊張の中で正しい行動がとれるようになるためには、経験値を増やすことが大切です。毎年、繰り返し訓練を続けていきたいと思えます。



クラブ見学 3年生

3年生のクラブ活動に対する興味・関心を高め、クラブ選択の手がかりとするためにクラブ見学を実施しています。事前に興味のあるクラブを決めておき、自由に見学しました。

クラブ活動の目的は「異年齢の児童同士が協力し、共通の興味・関心を追求する活動を自主的に行うことで個性の伸長を図り、特別活動の目標に迫る」というものです。

城東小学校では児童の思いや願いを聞き取りながら、設置クラブを決めています。来年度、4年生以上の児童が、以下の11クラブで活動する予定です。(希望者数によっては、変更することもあります。)

- 屋外スポーツ ○ 屋内スポーツ ○ 卓球 ○ パソコン ○ 室内ゲーム ○ 科学
- 手芸 ○ 調理 ○ 工作 ○ ミュージック・ダンス ○ マンガ・イラスト



プール塗装工事

1月中旬から4月中旬ぐらいまでの予定で、プールの塗装工事が始まりました。水泳指導時のけがの防止等にもつながります。児童が安心・安全に水泳の授業に取り組めるよう努めてまいります。3月以降も駐車スペース等で、ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

臨時駐車場の撤去

体育館長寿命化工事も順調に進み、予定通り2月中に引き渡しとなる見込みです。そのため、2月1日（土）から校庭の整地等が始まり、校庭の臨時駐車場が撤去され、校庭への車両の出入りが出来なくなります。送迎等の駐車場として、セブンイレブン城東小前店様及びヨークベニマル築瀬店様のご厚意により、駐車スペースの一部を借用できるようになりました。詳しくは、1月20日付さくら連絡網通知でご確認ください。児童の安心安全な登下校のためにご理解とご協力をお願いいたします。



<ことばの窓> 児童精神科医 佐々木 正美

子どもは、本来自分の言うことを聞いてくれる人の言うことしか聞かない。親の言うことを聞かない、教師の言うことを聞かないとしたら、何故なのか、考えてみれば分かる。